



視 察 研 修 等 報 告 書

令和5年11月10日

坂井市議会

議 長 辻 人 志 殿

会 派 名 政新さかい
報 告 者 辻人志

1. 日 時 令和5年10月11日（水）～令和5年10月12日（木）
2. 視察研修先 (1) 参議院議員会館（東京都千代田区）
(2) 幕張メッセ（千葉県千葉市）
3. 視察研修内容 (1) 高齢者支援に関する中央省庁レクチャー
(2) 第13回農業Weekの視察
4. 参加者 辻人志（政友会川畑孝治議員同行）

5. 内容詳細

(1) 高齢者支援に関する中央省庁レクチャー

岸田首相は今年8月3日に豊島区役所を視察後、「安心して民間事業者による身元保証などのサポートを受けられる仕組みを作る」と述べているが、それについて、今後どのように具体化するか、任意後見制度の現状と課題を含め、身元保証サポート事業の今後の展開について、法務省・厚労省・総務省の担当官からレクチャーを受けた。

(2) 第13回農業Weekの視察

農業Weekは、最新のハウス・路地栽培資材、農機、肥料、包装・物流、鳥獣害対策などの資材が出展されている「農業資材EXPO」と、最新のIT・DX、ドローン、ロボット、植物工場、再生可能エネルギー、人材雇用、参入支援など最新の技術が出展されている「スマート農業EXPO」、食品加工機器、OEM、鮮度・衛生管理、物流・包装、EC・販売支援などの加工から販売までを支援する企業が出展する「6次産業化EXPO」、飼料、給餌器や、畜舎、衛生製品などの資材・設備や、ITを用いた農場

生体管理などのサービスが出展されている「畜産資材EXPO」、CO2削減や有機栽培、SDGs推進可能な最新の製品、サービスが出展されている「農業脱酸素・SDGsEXPO」の5つの展示会で構成されている農業分野では日本最大の展示会で、今回も3日間で約3万5千人が来場している。

6. 所見・感想等

(1) 高齢者支援に関する中央省庁レクチャー

家庭裁判所が個々の事案に応じて成年後見人を選任し、その権限も基本的に法律で定められている法定後見制度に比べて、任意後見制度は当事者間の合意によって。法律の趣旨に反しない限り、自由に委任する事務の内容を決めることができるという利点があるが、それでも家庭裁判所に「任意後見監督人」選任の申し立てをしなければならないなどハードルは高い印象を受けた。

また、厚労省老健局の担当官から、家族による支援を受けることが困難な高齢者を対象に、入院や施設等に入所する際の身元保証、日常生活支援、死後の対応などのサービスを行う「身元保障等高齢者サポート事業」が現れており、今後において需要が高まる見込みであるとのこと。しかしその一方で、事業者の経営破綻に伴うトラブル等も発生しているようで、消費者保護の推進とともに、利用者が安心できるサービスを確保するための行政上の措置が求められると思う。

(2) 第13回農業Weekの視察

今回は「農業資材EXPO」と「スマート農業EXPO」を中心に会場を回ったが、以前に比べ産官学が連携した研究・開発を行っている事業が増えていると感じた。

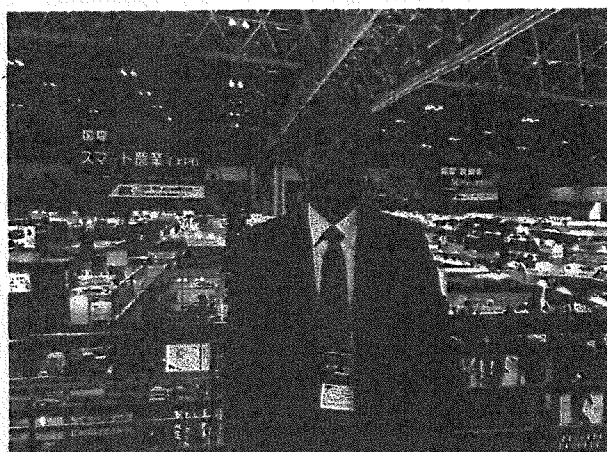
近年の異常気象に左右されない育苗・生産を可能にする植物工場や最先端の農機自動運転技術による農作業の自動化などは、農業をビジネス性のあるものにし、事業者に安定した収益をもたらすことが可能になると考える。

会場では、以前に視察した北海道岩見沢市の取り組みも紹介されていたが、私が視察した時よりさらに進化したものになっていた。ここでも産官学連携の取り組みが行われており、今後農作業の効率化を進めていく上でますます必要性が増すと思う。

7. 添付資料



▲省庁担当官からのレクチャー
(参議院議員会館)



▲第13回農業Week
(幕張メッセ)

会派内供覧

